

NPO法人コンカリーニョ 2011 年度事業報告

1. 事業の成果

生活支援型文化施設コンカリーニョ、ターミナルプラザことにパトス、あけぼのアート&コミュニティセンターの基本三館体制のもと、各種事業を精力的に行い、芸術文化振興とともに芸術文化を生かしたまちづくり活動の分野にて、各方面より評価を得、いっそうの信頼を得ることができた。

<2011 年度トピック>

- ・ 札幌市緊急雇用創出推進事業「すすきの若者地域活性化プロジェクト」(2 ヶ年) を完了。
- ・ 関係団体と協力し、演劇による創造都市札幌を実現するために「札幌演劇シーズン」を開始。(実行委員会に参画)

【2011 年度の活動で協賛、助成等ご支援を受けた団体】

ニトリ北海道応援基金、(財)アサヒビール芸術文化財団、平成 23 年度年賀寄付配分金、(財)三菱UFJ 地域文化財団、セブンイレブン記念財団、ホクレンショップレジ袋削減運動協力御礼助成金、(財)北海道文化財団、(財)札幌市青少年女性活動協会、札幌市西区まちづくり団体活動助成、地域商店飲食店 22 件

<5 カ年計画進捗状況 4 年次>

1. たまり場づくりカフェ構想

あけぼの「給食堂 bio」が、開店 2 年で軌道に乗り始めたところであったが、6 月のノロウィルス発生に端を発し、条例による衛生管理指導遵守と施設の設置コンセプトが相容れず、閉店。いったん断念し、今後を模索する。

2. 各種講座

演劇講座「劇をつくるということ」第 3 期継続実施したが、その成果は目標には届かず。

専門学校札幌ビジュアルアーツとの提携インターンシップ 2 年目継続。定着をみつつある。

3. 芝居づくり

予定通り、住民参加劇 7 回目を実施し、過去最高の出演者数、観客数を記録。

札幌演劇シーズン参画に伴い、年 1 本程度の自主プロデュース演劇製作を行っていく。

4. 仲間作り大構想

カリットメンバー拡大のためのシステムの見直し中。

パトス自主企画スタッフ、あけぼの図書ボランティア、あけぼのファーム活動は順調に成長中。

5. 公共施設の管理・運営

あけぼのにおける、課題となっていた一部周辺住民よりの音の苦情、スタッフ育成に若干の好転の兆しが見える。

6. レジデンスアーティスト構想

y h s・intro とレジデントカンパニー契約、ハムプロジェクトと稽古場支援契約をそれぞれ 3 年期限にて結ぶ。パトス若手劇団支援稽古場プロジェクトも 2 劇団 (fire works、劇団パーソンズ) となる。

2. 事業の実施に関わる事項

(1) 特定非営利活動に係る事業 【 】内の番号は、特定非営利活動に係る事業内容（添付資料最終頁参照）

I. 施設運営事業 【①⑥】 事業費 34,630 千円

A) 生活支援型文化施設コンカリーニョ

前年度（2010 年度）極端な稼働落ち込み（27.9%）を見せた劇場運営であったが、

- ・ 春限定バーゲンプライス
- ・ 提携公演の積極的誘致

などにより、稼働状況は過去平均並に回復。劇場費ゼロプランによる道外カンパニー誘致などの新しい試みなども手伝って、

演劇関係者への劇場としての認知度は全国的にもかなり高まっている。反面、他ジャンルでの稼働は極端に少なく、また、劇場稼働に占める一般レンタルの割合も半分以下にとどまっていることから、劇場稼働にはまだまだ潜在的なポテンシャルがあるものと思われる。

今後は、連続利用が多く稼働率アップに繋がり易い演劇公演での利用の更なる増加を目指しつつも、他ジャンルへの働きかけ、及びそれに応じた劇場機能の強化・改善を図ることが課題。あけぼの中ホール→パトス→コンカリーの劇団出世魚コースはつくれず。新職員1名採用(新規)。

		昨年度比
稼働率	47.0%	19.1%増
プログラム	48 本	7 本増
総利用者数	18,634 人	31.6%増
事業費	11,582 千円	4.5%増

B) ターミナルプラザことにパトス 【⑭】

前年度に比べ、今年度の稼働は全体的には微増したが、4～6月は大きく低迷した。

1. 「パトスは毎月やる」プロジェクト

8月に開始したカフェコンサートも軌道に乗りつつ

ある。ブッキングライブは、スタッフや企画希望の若者が多く集まり今後は期待される。ビジュアルアーツとのインターンシップ協働も順調。秋以降から出演参加数は大幅に減少し、中止も相次いだ。3月には、本プロジェクトに参加したことのある高校生主催による卒業ライブが多数開催され、自主企画から稼働アップへの流れを作ることができた。

[年間ライブ8回・カフェコンサート9回開催、851名参加、収益△14千円]

2. たまり場作り

ロビーを中心に、壁の塗装、カーペット敷き、照明の一部変更を行い、くつろぎ環境のアップを図った。好評ではあるが、進捗は遅れ気味。

3. 若手劇団支援プロジェクト 劇団 fireworks、劇団 パーソンの2団体と契約、順調。

4. パトス定期利用プロジェクト 半年間募集するも利用申し込みが無く、終了

		昨年度比
稼働率	48.0%	1.9%増
プログラム数	128 本	11 本増
総利用者数	20,816 名	2.7%増
事業費	6,096 千円	4.3%増

C) あけぼのアート&コミュニティセンター 【⑦⑭】

長期入居スペースに関しては、利用団体の入れ替わりはあるものの、まずまず高い活用率を保った。前年度よりの周辺居住の一住民の方の苦情対応のため体育館の夏場活用が改善できなかったものの、若干の好転の兆しもあり。また、冬場は新規定期利用契約が相次ぎ、通年での稼働率は前年度並みで終了。中ホールのみが、いまだ

に十分に活用しきれていないとは言えず、「アート割」と名づけた割引利用設定を設けた(4月)。

		昨年度比
稼働率(長期)	90.3%	8.2%減
(一般貸室)	57.2%	3.2%増
総利用者数	43,054 人	17.8%減
事業費	16,952 千円	8.1%増

あけぼのファームの会員制グループ活動も軌道に乗り、図書ボランティアを立ち上げ、次年度以降の施設ボランティア定着へ希望が持てる年となった。しかしながら、数々の自主企画を行い、求心力を持ち始めていた地域交流食堂「給食堂 bio」は、2年で閉鎖(6月)。bioに替わる交流機能をどう持つべきか?は、今後の大きな課題。新職員2名採用(人員交替)。

主な出来事		
7月31日	サマーフェスティバル in 曙 2011(実行委員会主催)	1,200名参加
9月17日	札幌市立曙小学校代同窓会	17名参加
12月11日	都市連携コミュニティ再生講座「つけもの自慢大会」	40名参加
通年	bio講座等 9回(手前味噌づくり、クリスマスケーキづくり、餅つき他)	95名参加
通年	あけぼのファーム活動 6団体、10個人、合計32名登録(協力:NPO法人人まち育てI&I) ・ 7~11月上旬 畑作業およびミーティング <25回> 延べ271名参加 ・ 加工実習、交流食事会、収穫祭 <7回> 延べ41名参加 ・ 冬の勉強会 12月、1月、2月 <3回> 延べ80名参加 [助成]セブンイレブン記念財団、ホクレンショップレジ袋削減運動協力御礼助成金	
随時	NPO起業支援プログラム研修生受入4回 7月、9月、11~12月、1~2月	延べ 日間 12名受入

- 入居者会議 毎月1回定例(12回)
- 地域連絡会 2回(9月27日、3月22日)
- 曙通信発行、曙連合町内会で回覧 4回(8月、11月、2月、5月)

II. 企画事業【②】

事業費 19,188千円

[助成]ニトリ北海道応援基金、(財)アサヒビール芸術文化財団

7月16日、17日	コンカリ夏祭り【⑦】 17組出演、16組出店	400名来場
7月	ジャナグルWS&コンサート@ちえりあ、児童会館【⑤】 [共催](財)札幌市生涯学習振興財団 [助成](財)札幌市青少年女性活動協会	1ステージ 302名来場
8月19日、20日	プロデュース公演 イナダ組「マーブル2011」【①】 作・演出:イナダ、プロデューサー:小室明子	3ステージ 342名来場
9月3日、4日	INDEPENDENT JAPAN TOUR 札幌公演【⑥】	6ステージ 280名来場
7月下旬~9月中旬	INDEPENDENT JAPAN TOUR 道外公演参加(大阪、東京、沖縄) 【⑥】 榮田佳子「0141≒3088」 作・演出:イトウワカナ、プロデューサー:小室明子 [助成](財)北海道文化財団	
10月29日	子どもたちの、素直な自己表現のための演劇教室発表会【⑤】 講師:納谷真大、プロデューサー:斎藤ちず @パトス、小4~中3 13名参加、12回講座 [助成]平成23年度年賀寄付配分金	1ステージ 46名来場
11月29日	劇をつくるということ第3期中間発表会@パトス【⑥】 受講者13名	1ステージ 31名来場
11月29日、30日	アイ★ワカナ博 札幌、大阪(12月7日、8日)【⑥】 作・演出:イトウワカナ、プロデューサー:小室明子	2ステージ 132名来場

12月1日～3日	東京タンバリン「ゼロから始める」【⑥】(提携)	3ステージ 193名来場
12月18日	土曜はコトニ 第2回「夢まちアイディアコンテスト」【⑦】	31名来場
1月7日	新年餅つき大会【⑤⑦】 [助成]札幌市西区まちづくり団体活動助成	106名来場
1月15日	JCDN「踊りに行くぜ!! II」vol.2札幌公演【⑥】	2ステージ 223名来場
1月29日～2月4日 2月11日～18日	札幌演劇シーズン2012冬イナダ組「このくらいのLangit」【①】 作・演出：イナダ	16ステージ 1,740名来場
2月1日～28日	西区文化フェスタ@パトス【⑦】 (西区・企画委員会主催、コンカリーニョ企画運営)	プログラム 2,352名来場
2月25日、26日	サッポロショーケース(共催)【⑥】	2ステージ 400名来場
3月3日、4日	住民参加温故知新音楽劇「シャッポおじさんの写真館」【⑦】 作：すがの公、演出：斎藤ちず、音楽：橋本幸 [助成](財)三菱UFJ地域文化財団 [協賛]地域商店飲食店22件	3ステージ 537名来場
3月31日、4月1日	劇をつくるということ第3期「やんなるくらい自己嫌悪」【⑥】 作・演技演出：納谷真大、演出：イナダ プロデューサー：斎藤ちず 講座生11名参加	3ステージ 166名来場
4月12日～14日	第6回生活大骨董市【⑦】 25店舗出店	600名来場
5月4日、5日	INDEPENDENT: SPR【⑥】	4ステージ 281名来場
5月13日	サンプル(東京)「自慢の息子」(ゼロプラン提携)【①⑥】	2ステージ 200名来場
5月19日、20日	Zanahoria「境界」(バーゲンプライス提携)【①⑥】	4ステージ 147名来場
5月21日～6月20日	フィンランドデイズ vol.2@ちえりあ他【③④⑤】 [共催](財)札幌市生涯学習振興財団、フィンランドセンター 北海道事務所、(財)札幌市青少年女性活動協会、北海道フィン ランド協会、カンテレキャンプ in 北海道実行委員会 [助成](公社)北海道国際交流・協力総合センター、(公財)北 海道文化財団、(社)私的録音補償金管理協会 [協賛]札幌駅前通まちづくり(株)	17プログラム 5,000名来場
5月31日～6月4日	intro「ことほぐ」(レジデント提携)【①⑥】	6ステージ 338名来場
6月9日、10日	劇団野の上(青森)「ふすまとぐち」(ゼロプラン提携)【⑥】	3ステージ 116名来場

主催事業12本、参画実行委員会主催2本、提携共催7本、委託事業1本

○札幌市緊急雇用創出推進事業「すすきの若者地域活性化プロジェクト」 【⑦⑩】

前年度に結成した「すすきの盛り上げ隊」が成長し、前年度に培ったすすきの地域の信頼を基に、地域のさまざまなイベントに参画し、いっそうの定着をみた。目標どおり、今後の活動継続も行われそうであり、コンカリーニョとしての一定の役割を果たした。

Ⅲ. 出前派遣事業

事業費 6,054 千円

○技術制作派遣【①②④⑩】

琴似飲食業組合ビール祭り、はこだて民族芸術祭、北海道文化財団舞台芸術情報フェア、北海道舞台塾コーディネーターほか

○講師派遣【③④⑤⑨⑩】

コミュニケーション教育事業（稲雲高校、篠路中）、朝日中、清田小

○コーディネート事業【②⑦⑨⑩】

チカチカ☆パフォーマンススポット、新冠こどもアニメイベント

Ⅳ. 共通事業【①⑬】

○劇場通信発行と配布（毎月 8,000 部*12 回） 5 月よりリニューアル 2 ヶ月に 1 回

○メールニュース発行（月 2 回 600 名*24 回）

○内部ミーティング

役員会：定例奇数月第 2 月曜日 19：00～ 12 回+臨時役員会 1 回

カリットミーティング：定例毎月第 4 水曜日 19：00～ 12 回

(2) その他の事業 該当なし